



# 遠中だより

蔵王町立遠刈田中学校 学校通信

発行日：平成30年 4月10日  
号数：第1号  
発行：蔵王町立遠刈田中学校  
遠刈田温泉小妻坂山16  
TEL 0224-34-2203

※個人情報保護のため、個人名や個人の特定できる写真等を削除して掲載しております。

## 活力に満ちた春に、遠中始動！

昨日4月9日（月）、午前に披露式と始業式、午後に入学式を終え、いよいよ平成30年度遠刈田中学校、全校生徒63名でスタートいたしました。生徒たちの表情は、新学年になる喜びと、「頑張るぞ！」という意欲に満ちて、輝いていました。

今年度も「安全・安心で明る学校、開かれた学校」を目指し、職員一丸となって努力いたしますので、保護者の皆様には、本校の教育活動に変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。



披露式 会長による歓迎の言葉

### 【転入職員紹介】

校長 高橋 直人 (たかはし なおと) 宮城県美術館 教育普及部(次長)より (美術科)  
主幹教諭 (数学科) 教諭 (英語科)

### 遠刈田中学校 学校教育目標

自主 敬愛 活力



学ぶ意欲にあふれ 心豊かで 健康で  
たくましく生きる 生徒の育成

### 「始業式」校長式辞より(抜粋)

いよいよ今日から平成30年度がスタートします。新2年生、新3年生に進級されたみなさん、進級おめでとうございます。

今、みなさん一人一人の表情を壇上から見ていると、気持ちを新たにして、凛として始業式に臨んでいることが見て取れます。たくましさも感じます。

3年生のみなさん、義務教育の最終学年、そして遠刈田中の最高学年として、学校行事や生徒会行事、部活動など、卒業生が築いてきたこれまでの伝統を継承しながらも、より一層発展させてほしいと思います。今年度末には自分の将来にかかわる大切な進路の決定を成し遂げなければなりません。それぞれの目標に向かって一日一日を大事にし、精一杯努力をしてください。才能には限りがあっても、努力には限りがありません。みなさんならきっと、一人一人、自己実現ができると期待をしています。

2年生のみなさん、今日から“先輩”となります。中堅学年として思い切り自分を磨き、高める時です。3年生を助けて背中を追いかけながらも、1年生も助けてあげてほしいと思います。中学校において「3年生は“学校の顔”」「2年生は“学校の心臓”」とも言われます。学校の心臓として、エネルギーみなぎる遠刈田中を、3年生と共に2年生が創り上げてほしいと願っています。

さて、本日午後の入学式で、16名の新入生が入学をしてきます。中学生活の経験がない新入生は2、3年生の姿を手本にして中学校生活の仕方を身に付けて行きます。よき手本となれるように、先輩として立派な態度で迎えてあげてください。

「立派な態度」とはどんなことを言うのでしょうか。『あたりまえのことをあたりまえにできること』を言うのだと私は思います。

一人一人が自分の心に夢をいだき、しっかりと目標に向かって取り組んでほしいと思います。先生達も頑張るみなさんをしっかりと応援していきます。

一緒にがんばっていきましょう！



始業式 式辞を真剣な表情で聞く生徒たち



# 平成30年度 遠刈田中学校 職員紹介

どうぞよろしくお願ひします！



職名	学年所属等	氏名	主な担当教科	部活動
校長	校長	高橋 直人		
教頭	教頭	松崎 恵子	国語	
主幹教諭 1名 教諭 10名 主査 1名 非常勤講師 2名 その他 5名				

## 第72回入学式 緊張感と温かい雰囲気の中行われました。

16名の新1年生、名前を呼ばれると全員が明るく大きな声で「はい！」と返事を返してくれました。これからの中学校生活頑張るぞ！という前向きな気持ちが伝わってくる態度に、職員一同気持ちを引き締めました。一人一人が個性を輝かせて充実した学校生活を送り、3年後に「遠中生でよかった」と満足して卒業できるよう支援していきたいと思ひます。

### 校長式辞

16名の新入生のみなさん、入学おめでとうござひます。先ほど、一人一人の名前が呼ばれ、凜とした返事とともに、前をしっかりと見つめて起立した姿は、これからの3年間の中学生生活を爽いあるものにしようとする決意を感じました。

さて、本校では「学ぶ意欲にあふれ 心豊かで 健康でたくましく生きる生徒の育成」を教育目標として掲げ、目指す生徒の姿を「自主」「敬愛」「活力」と定め、日々の教育活動に取り組んでおります。

そこで、これから3年間の中学生生活を始めるに当たり、しっかりと心にとどめ、大切にしてほしいことをお話しします。

一つ目は「夢や目標を常に意識をして努力をする」ということです。中学校時代は小学校の半分の3年間です。そして、卒業後は義務教育ではなくなるため、一人一人がそれぞれ自分の道を進んでいかなければなりません。中学校の後の道はこれからの人生に大きく関係します。そのために、中学校では自分の将来を見据えながら、今日行うべき学習を一步一步着実に進めていく必要があります。つまり、今現在の自分の姿を見つめた上で夢や目標に進んでいくことが求められます。しかし、まだ、みなさんの中には自分の夢や目標がハッキリしない人も多いと思ひます。そういう場合には、目の前に小さな目標を立ててひとつずつ実現をしていくことや、読書などを通して生き方を考えること。また、何にでも積極的に挑戦してみることが大事です。そうする中で自分のやりたいことが見えてきて、それが夢や目標につながっていくこともあるように思ひます。中学校の3年間はあっという間に過ぎていきます。一日一日を大事にして、目標を定め、今をしっかりと生きてください。そのことは、「自分を大切にする」ことにも繋がります。

二つ目は「友だちを大切にする」ということです。常にお互いを認め合い、協力したり、時には競い合ってお互いを高めてほしいと思ひます。昨今報道されている「いじめ問題」などの「学校における冷たい人間関係の事件」は、そのほとんどが「相手の良さを認めない」「相手をうやまわさない」ところから来ているように思ひます。心を通わせながら、友だちと切磋琢磨することで、相手も自分も成長をすることができます。みなさんは小規模校ならではの絆の強さは小学校時代からすでに持ち合わせていると思ひますが、さらによりよい太い絆をつくりあげ、お互いを思いやる3年間を作り上げてほしいと願ひます。

保護者の皆様に申し上げます。お子様のご入学、誠におめでとうござひます。ご家庭の宝物である大切なお子様を確かにお預かりさせていただきます。中学時代は心と体の変化が激しい時であり、逞しく、そして、頼もしく成長する時でもあります。皇后陛下「美智子様」がこのような言葉をおっしゃられた時がありました。「幸せな子」を育てるのではなく、どんな境遇に置かれても「幸せになれる子」を育てたい。と。親御様としての美智子様のお言葉を心に刻み、家庭と学校、地域との連携をより確かなものにしながら、この3年間、微力な私たちではござひますが、全職員一丸となって一人一人の生徒が「学ぶ意欲にあふれ 心豊かで 健康でたくましく生きる」ことを目指して鍛え育ててまいります。ご支援の程、何とぞよろしくお願ひいたします。(後略)

